

GS(日本電池)の歴史

1895	島津源蔵、日本で初めて鉛蓄電池を製造
1908	商標「GS」を使用開始
1912	蓄電池工場(新町今出川)建設
1913	
1915	
1917	日本電池(株)を設立
1918	
1919	自動車用電池の製造開始
1920	島津源蔵、「易反応性鉛粉製造法」を発明
1923	東京営業所開設
1924	
1929	鉛粉塗料(株)(現大日本塗料(株))設立
1933	ガラス製水銀整流器の製造開始
1937	日本輸送機(株)設立
1938	アルカリ電池の製造開始
1939	
1940	超高圧水銀灯を開発
1941	
1943	京都西大路工場完成
1949	
1954	
1958	日本電池ビル完成(東京支社)
1963	
1965	藤沢工場完成
1966	サイアムGSバッテリー設立
1969	自動車用電池工場完成
1972	P.T. GS Battery設立
1973	
1977	GSバッテリー(USA)設立。新研究本館完成
1980	群馬工場完成
1981	
1986	ジーエス・サフト設立。統一工業へ資本参加
1987	CIを導入し、企業理念・経営理念を制定
1988	フィアムGS設立
1989	ジーエス・イーイー設立
1991	天津統一工業設立
1992	
1995	山東華日電源設立
1996	
1997	北京日佳電源、GSバッテリーベトナム設立、 ジーエス・メルコテック、ジーエス・メルコテック上海設立
1998	AGMバッテリーズ設立
1999	
2000	サイアムGSセールス設立
2001	
2002	杰士電池設立
2003	上海杰士鼎虎動力設立

YUASAの歴史

1895	
1908	
1912	
1913	初代湯浅七左衛門は金属の電解科学に関する研究を開始
1915	大阪府泉北郡(現堺市)の湯浅鉄工所内に 湯浅蓄電池製造所を設け、蓄電池の生産に着手
1917	
1918	湯浅蓄電池製造(株)を設立
1919	大阪府三島郡(現高槻市)に新工場完成
1920	自動車用電池を生産開始。据置用電池用チュードル型極板も完成
1923	
1924	乾電池の研究に着手。翌年生産販売を開始
1929	
1933	
1937	
1938	
1939	高槻乾電池新工場完成
1940	
1941	小田原蓄電池新工場完成
1943	
1949	再建設備計画に基づき、湯浅乾電池(株)を分離独立
1954	湯浅蓄電池製造(株)と湯浅乾電池(株)を合併、 湯浅電池(株)として新発足
1958	
1963	小田原に自動車用電池専用の新工場完成。 タイユアサ設立
1965	ユアサバッテリーアメリカ設立
1966	日本で初めて完全即用品液別電池を発売
1969	
1972	超薄膜ユミクロンセパレーターによる 高性能ユミクロン電池を発売
1973	京都長田野工場完成
1977	
1980	
1981	ユアサバッテリー(U.K.)リミテッド設立
1986	ユアサバッテリー(U.K.)リミテッドが 輸出貢献企業として英国女王賞を受賞
1987	
1988	
1989	
1991	
1992	CI導入し、社名を「湯浅電池(株)」から 「(株)ユアサ コーポレーション」に変更
1995	
1996	合併会社、広東湯浅新力蓄電池有限公司設立
1997	
1998	超薄型リチウムイオンポリマー二次電池を開発
1999	自動車電池部門分社化に伴い、ユアサバッテリー販売(株)発足
2000	ユアサバッテリーインク設立
2001	直接メタノール型燃料電池(DMFC)を開発
2002	合併会社、湯浅蓄電池(順徳)有限公司設立。 欧州統括会社、ユアサバッテリーヨーロッパリミテッド設立
2003	

2003年 共同株式移転による経営統合基本合意書の締結

2004年4月 (株)ジーエス・ユアサ コーポレーション設立